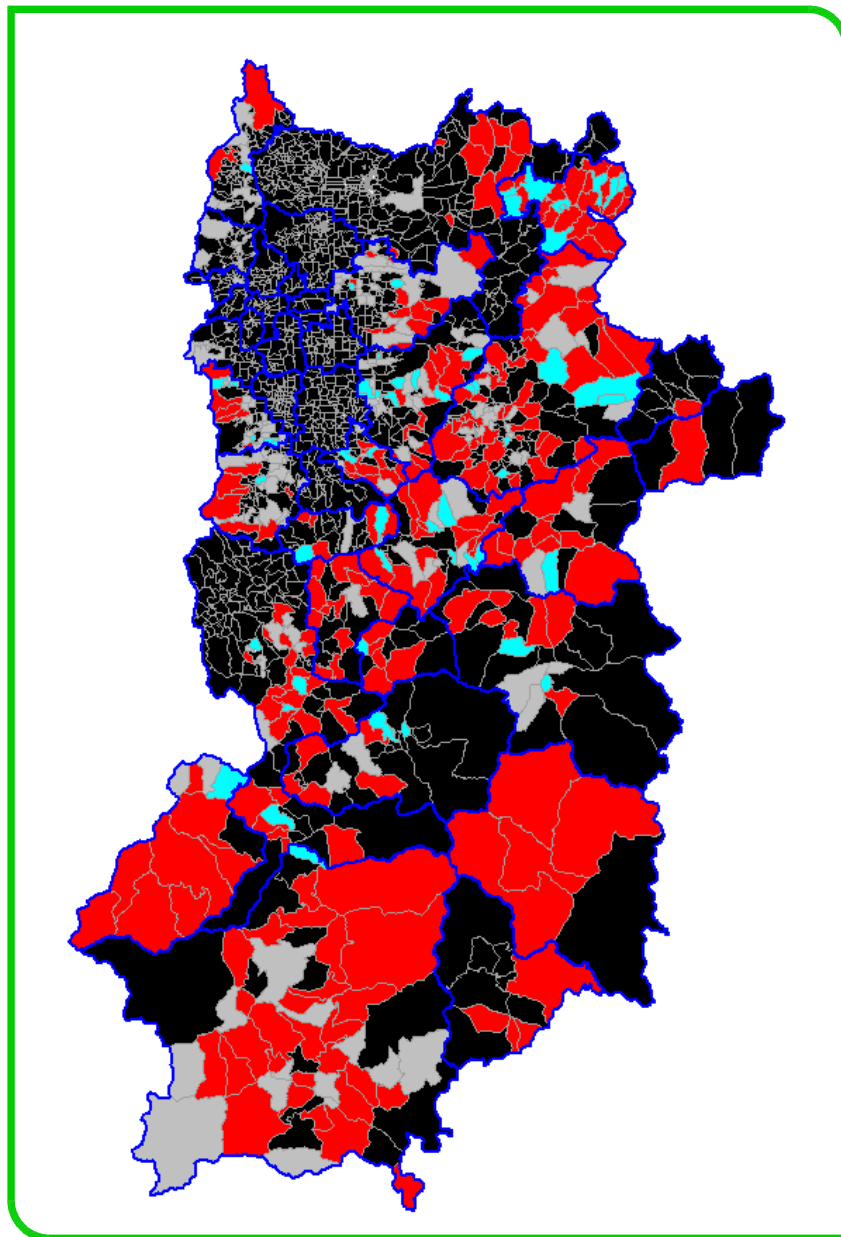


# 農業・林業集落アンケート調査によるノウサギの生息状況・被害状況 (平成28年度)

## 1. 平成28年度 林業集落アンケート調査によるノウサギの分布



左図は、平成28年度の農林業集落アンケート調査による、ノウサギの分布である。

林業集落でノウサギが「いる」と回答があった場合に「いる」と回答があった場合に「分布している」とした。回収無しには既に人が住んでいない集落も含まれている。

県内の多くの地域の山林から「いる」と回答があった。

### ・平成28年度

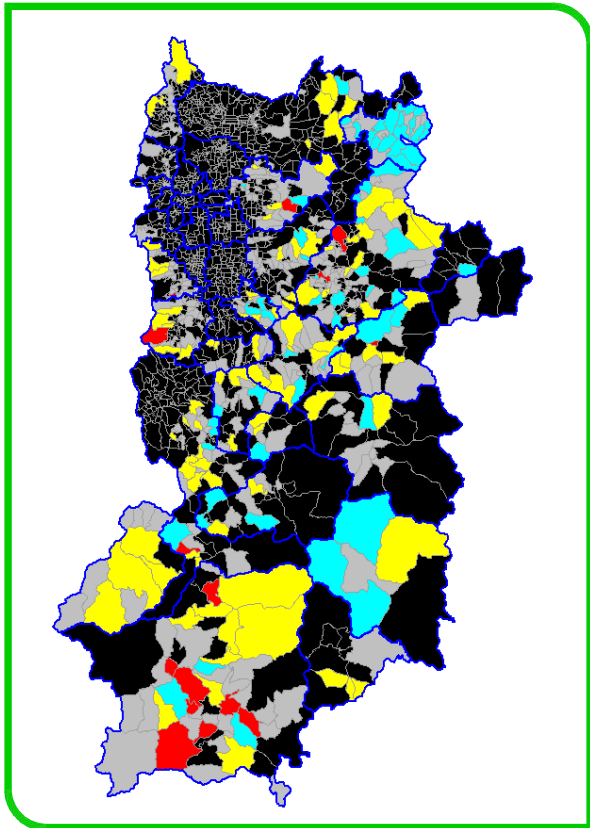
■ いる	239集落
■ いない	58集落
■ 回答無し	157集落
■ 回収無し	1354集落
全	1808集落

### 参考)平成27年度

■ いる	208集落
■ いない	60集落
■ 回答無し	135集落
■ 回収無し	1405集落
全	1808集落

凡例 図中 青線 市町村界 市町村界内側の線 大字・地区界  
なお、この市町村界、大字・地区界の凡例は次項以降の図も同様である

## 2. ノウサギの山林・奥地森林での出没(平成28年度)



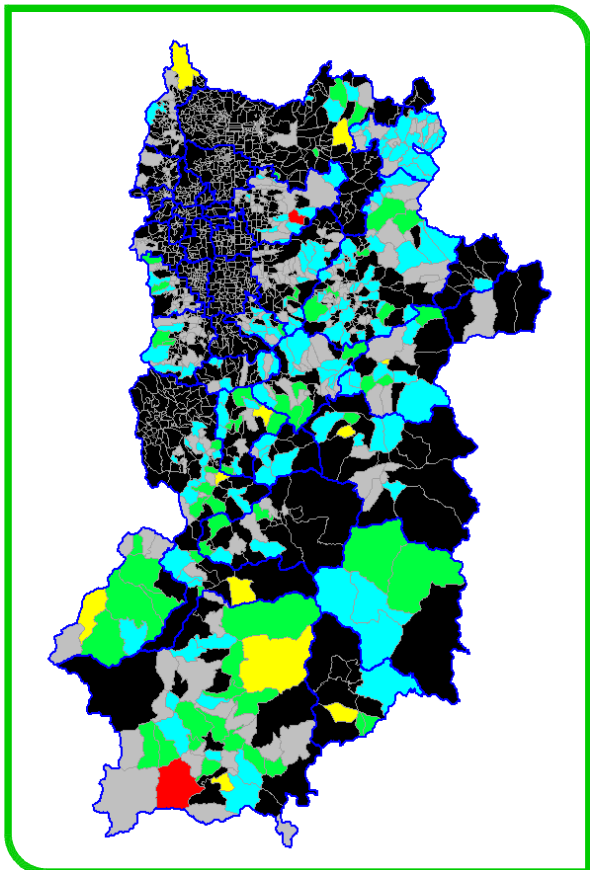
左図は平成28年度の林業集落アンケートによる、ノウサギの山林・奥地森林での出没状況である。

ノウサギが「いる」と回答があり、かつ本設問の回答があった集落の内訳は下記の通りである。

・平成28年度	
よく見る	15集落(8.8%)
たまに見る	93集落(54.7%)
あまり見ない	62集落(36.5%)
回答数	170集落

参考)平成27年度	
よく見る	11集落(7.3%)
たまに見る	79集落(53.7%)
あまり見ない	60集落(40.0%)
回答数	150集落

## 3. ノウサギの林業被害の大きさ(平成28年度)



左図は平成28年度の林業集落アンケートによる、ノウサギの林業被害の大きさの意識調査の結果である。ノウサギが「いる」と回答があり、かつ本設問に回答のあった集落の内訳は下記の通りである。

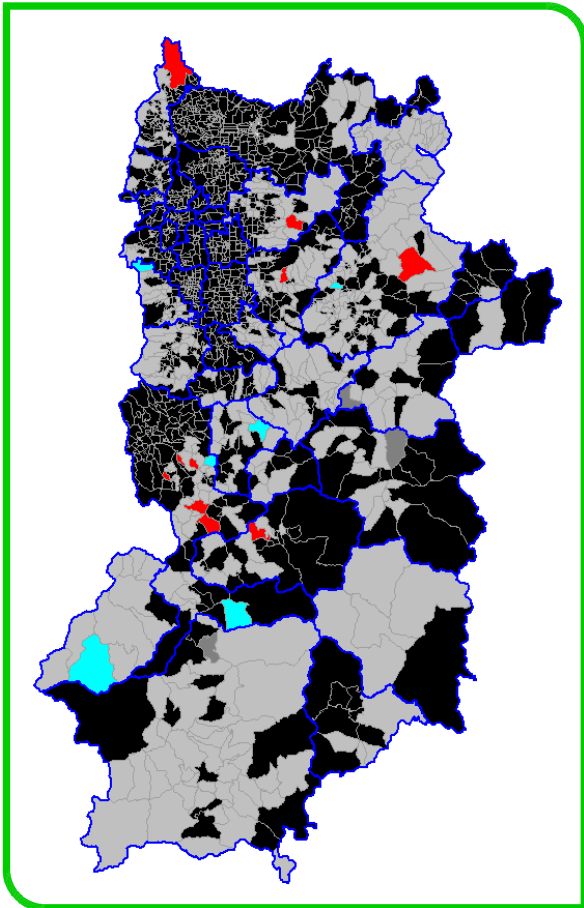
ノウサギの林業被害は、「軽微」なものが約27%と最も多かった。「大きい」は約7%、「深刻」はなかった。

過去にはノウサギによる林業被害、特に新植地での摂食被害は非常に大きい時代があったが、近年は新植地は減少、ノウサギの被害も減少している。本年度の調査も、そのような状況を反映していると考えられる。

・平成28年度	
ほとんど無い	148集落(67.3%)
軽微	59集落(26.8%)
大きい(生産量の30%未満)	11集落(5.0%)
深刻(生産量の30%以上)	2集落(0.9%)
回答数	220集落

参考)平成27年度	
ほとんど無い	118集落(63.4%)
軽微	55集落(29.6%)
大きい(生産量の30%未満)	13集落(7.0%)
深刻(生産量の30%以上)	0集落(0.0%)
回答数	186集落

#### 4. ノウサギ被害対策 防護柵(侵入防止柵)の効果(林地・平成28年度)



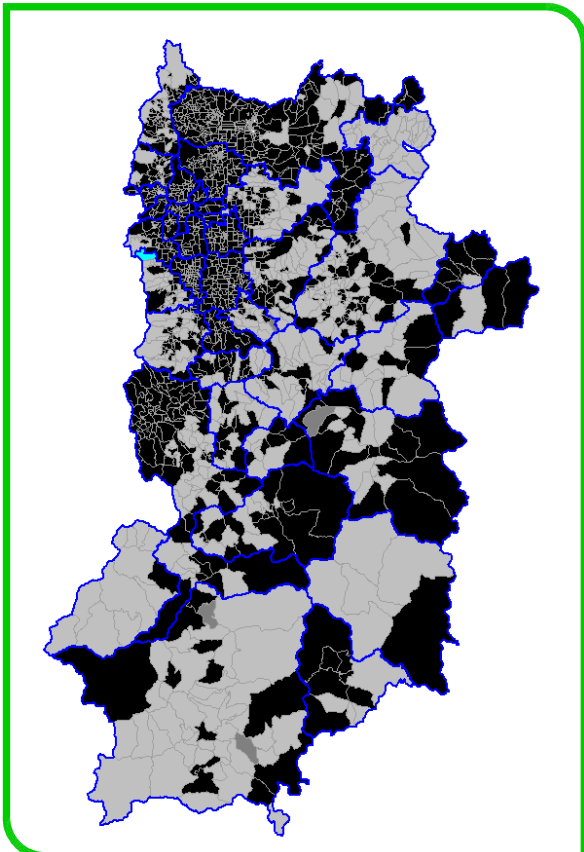
左図は平成28年度の林業集落アンケートによる、ノウサギの林業被害対策の、防護柵(侵入防止柵)の設置による効果の意識調査の結果である

ノウサギが「いる」と回答があり、かつ本設問に回答のあったのは、わずか15集落のみであった。

・平成28年度	
■効果があった	9集落
■効果がなかった	6集落
回答数	15集落

参考)平成27年度	
■効果があった	9集落
■効果がなかった	3集落
回答数	12集落

#### 5. ノウサギの被害対策 有害捕獲の効果(林地・平成28年度)



左図は平成28年度の林業集落アンケートによる、林業被害対策の、有害捕獲を実施した効果の意識調査の結果である。

本設問へ回答はわずかに1集落のみであった。

・平成28年度	
■効果があった	0集落
■効果がなかった	1集落
回答数	1集落

参考)平成27年度	
■効果があった	2集落
■効果がなかった	0集落
回答数	2集落